



発行責任者

長崎県病院企業団
上対馬病院広報部
広報部長 立花巖
編集長 永野和寿

基本理念
地域の健康な生活を
守る使命の達成のため
職員ひとりひとりが
自覚と責任を持ち
心のふれあいのある
患者様の側に立った
医療の実践を行う

あけましておめでとうございませす
いよいよ稼働間近！電子カルテシステム



**平成二十六年
年頭所感**

新 年明けましておめで
とうございませす。職員
の皆様には健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し
上げませす。また、年末・年始
に仕事をされた皆様お疲れ
様でせす。

昨年の流行語大賞の1つ
に「お・も・て・な・し」が
選ばれませす。病院の語源で
ありませす「ホスピタリティ」
は、正におもてなせす。
昨年来、「短くてもふくよ
かな会話ができるキャン
ペーン」を継続中せす。患者

新春

さんの満足度の1つに接遇
があると思ひませす。外来に
あつては、気持ちよく病院を
受診し、気持ちよく帰宅でき
る。入院にあつては、気持ち
よく療養生活が過せせる。
全職員の気持ちよい心配り
が患者さんの心を安らげ
と思ひませす。

今後も研修会などが計画
されていませす。上対馬病院
院内は気持ちよい空間であ
るよう皆で努力しませす。

～昨年を振り返つて～

昨年4月からの常勤医減
少で、上対馬病院最大の苦境
とも言える状況に置かれて
いませす。しかしながら、対馬
いづはら病院を中心とした
多くの病院のご支援により、
これまで何とか上対馬地域の
医療を守ることができて
いませす。この場をお借りして
お礼申し上げたいと思ひま
せす。

医師の確保には努力して
いませす。なかなか上手く

きません。昨年は3人の医師
に病院見学に来て頂きまし
た。現在、交渉継続中の医師
もいませす。今後も努力して
いませす。

設備に関しては、X線透視
装置の更新を行いました。こ
れで、全てのX線装置のデジ
タル化が完了しました。医療
の質の向上に寄与できると
考えていませす。

～電子カルテ稼働へ～

さて、今年の最大の事業
が、2月1日より運用開始予
定の電子カルテシステムで
す。円滑な導入に向けて研修
に励んでいませす。色々解決
しなければいけない問題が
多々ありませす。開始当初は慣
れなくて、患者さんに迷惑を
おかけする場面も出てくる
ことが予測されませす。なる
べく最小限になる様よろし
くお願いしませす。

また、このことも患者サー
ビスの実践です。対応を誤る
と大きなトラブルとなりま
せす。ちよつとした心配りがト
ラブルを未然に防ぐ大きな
要因となりませす。患者さん
に対しての声かけなどの配慮
をよろしくお願いしませす。

～駿馬のうたい～

医師充足がなかなか困難
な状況の中で、病院経営も大
変ではありませす。引き続き
上対馬の地域医療を守つて
いかなければなりません。今
年も、皆様のご協力よろし
くお願いしませす。

今年は何年です。個人的に
は年男です。自分でも信じら
れないことですが、いつの間
にか無駄な年をとつてしま
いませす。颯爽と駆け抜ける
駿馬にはなれませんが、駄馬
にならないように努力した
いと思ひませす。

また、人間万事塞翁が馬で
はありませんが、何が幸せか
わかりません。今年が職員皆
様にとりまして、何か1つで
も良いことがある年であり
ませすことを祈念しませす。

院長 立花 一憲



年末の風物詩

餅つき

一撃入魂



御 用納めの12月27日
(金) 14時より、毎年恒例の餅つきが行われました。

実行役の一員に、元検査技師長のヒゲ先生こと、田中先生にご足労頂きました。しかし、今回のヒゲ先生は前準備を済ますと、返し手としてはあまり前へ出らずに、去年から育成中のクラーク富田美さん(後任決定?)に手解きをした後は、後方より達観していました。

つき手は、各部署の力自慢達が集い、渾身の力を込めてついていました。後日談ですが、富さん手を負傷していた模様です(汗)。

ちようど、職場体験に来ていた高校生が、急遽参加することになり、4人仲良くついていました。いい経験になったのではないのでしょうか。

つきあがった餅は、すぐさま『餅丸め隊』に引き継がれ、慣れた手つきで手早く丸めていました。今年は、昨年好評だったよもぎ餅に加え、いちご大福まで作りました。皆さん、大変喜んでべろりと食されていた様です。来年は、ぜんざいかな? (笑)
参加準備された皆様、お疲れ様でした!



えっ?

えっ!?

▲足の構えが左右逆の米田君



ほいさっ!



▲大石先生も逆w



▲毎年お世話になります!



テキパキ
テキパキ

やっぱこれだね



ハフハフ



▲高校生も飛び入り参加!

おめでとうございます!!

永年在職者表彰



この度、永年在職20年の表彰をして頂き、本当に感慨深いものとなりました。この紙面をお借りして、これまで私を支え、指導下さいました病院スタッフの方々、そして家族に感謝とお礼をお伝えしたいと思います。

平成5年の4月に、地元であるココ上対馬病院へ福岡のネオン、いや病院に後ろ髪を引かれながら帰島したのが、ついこの間のような気がしてなりません。

不安を抱えながらの就職でしたが、1週間も経たないうちに皆にも慣れ、「前からずっとうち(上対馬病院)に居た気がする」と言われた事を思い出し、やはり対馬の風が私には合っている、働く運命だったのでしょう。

この20年間には、色々な人との出会いや別れもありました。体調を崩し復帰できないかもと悩んでいた時期もありましたが、温かい先生や先輩スタッフにも恵まれ、支え励まして貰いながら過ごしてこれたことは本当に大切な思い出です。



病棟 松村 由紀子

現在、対馬の人口も年々減少し、超高齢化の状況であり、年を重ねていく私にとっても辛く感じることもあり。しかし、これから先も医療に必要な思いやりの心と実践に必要な技術を学び続け、大好きな上対馬の地域医療を担う一員として日々努力し、同じ医療人を目指す子供の手本、地域に必要とされる看護師として、これからも体力の許す限り努めていきたいと思えます。本当にありがとうございます。



病棟 大束 鶴子

院に勤務して、早20年。最初は介護のことなど、全く分かりませんでした。シフト交換や、おむつ交換等々、どこから手を出しているか分からない私に、先輩方が色々教えて下さり、何とか勤めて参りました。その間には、幾度か挫折もありました。その度にスタッフの励ましが有り、患者様のありがたうの言葉を聞き、お手伝いやお世話をし、こんなに喜んで貰ったり笑顔が見れるんだって頑張ろうと思ひ、続けて来ました。あつという間の20年間でした。何の資格も経験も無い私を見守って下さったスタッフ他、職員の皆様に感謝します。ありがとうございます。



病棟 宮原 幸恵

この度、私の徘徊に対してこのような輝かしい表彰までして頂き、誠に恐縮致しております。健康と実益を兼ね、日々歩き回っていただけでございます。何て言いましようか有難うございます。足腰にだいぶガタが来ておりますが、今暫く歩き回ろうと勝手に思っております。大きな箱もいっしょに頂きました。皆様、気になられたかと思われ。自身は、ティファールのフライパンと鍋でした。さらに料理の腕を磨き体力向上に努めようと、箱を開けた瞬間だけ思いました(思いが長続きいたしません)。

歩

き続けて20年を振り返り

フォトコンテストのその後

2013年の院内フォトコンテストは、やはりと言いますか電子カルテ準備等で皆さんお忙しいのか、なかなか応募数が規定まで達しませんでしたので、残念ながら投票・表彰は取りやめとさせて頂きました。

応募頂いた職員の方には、大変申し訳ありませんでした。また、今年の秋よろしくお願ひ申し上げます。応募に対して二の足を踏んでいる方へ、高機能な一眼

レフカメラじゃなく、写メ・スマホでも全然構いません。子供・ペット等、複数枚の写真を取れば、こちらで組み写真も作成致します。患者様が楽しんで頂けるよう、ご協力お願い致します。

また、フォトコンテスト時期以外でパーティーションを有効利用するため、大判印刷など何らかの掲示ができませんか思案中です。

広報部会 永野 和寿



撮っただけではもったいない！飾ってあげると写真も喜ぶますよ★



平成25年

大忘年会

気炎万丈

一蓮托生



～いつ騒ぐの？ 今でしょ！（古い？）～



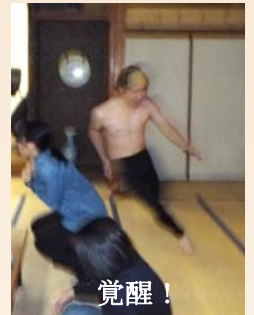
かんぱ～い！



躍動！



嘘～っ！ すま～ん！
地域医療のためだ～～～！！



覚醒！



乱舞！



咆哮！



それ～
それ～



おほほ うふふ



ぎゃー！

12月27日、料亭千鶴におきまして、上対馬病院忘年会が行われました。司会は、リハビリ須川さんと、デイケア板井君。

今回、厚生部会からの催し物として、何でもアリのカラオケ大会を開催することにしました。しかし、前もって募集するも2組しかエントリがなかったため、当日飛び込みで歌ってもらおう！シャイな人でもお酒の力で歌ってくれるだろう！と、期待しつつ、カラオケ大会はスタートしました。

トップバッターにエントリしてくれた検査富さん。江頭2：50の格好で『スリル』の曲と共に部屋中を駆け巡り、猛スピードで人に飛び込んでいました。

次に病棟武末師長、松村副師長、ア、マイクを渡すと快くノリノリで歌ってくれました！大石先生と幸美さんも勢いで登壇！

3番手に山崎総師長、坂本師長の黄金ペア。良子さんと栄子さんも乱入！

4番手は総務犬東君による『女々しくて』。やはり、ノリのいい曲なので、みんな壇上上がり飛び跳ねて、結局歌っている犬東君が一番目立たないという…（笑）。



私達、芸事には一切妥協しません！！



次、デイケアの本格的演目『恋するフォーチュンクッキー』。平均年齢が丁度48歳になるらしく、DKA48として衣装・振り付けと非常に素晴らしかったです。次に対馬いづはら病院婦人科の山内先生による、筋肉少女隊『踊るダメ人間』！そして、外来から御手洗さん枝見さん『年下の男の子』振りがうる覚え(笑)。

鳥山さん『歌わせてくれるの〜』と、嬉しそうにマイクを握ってました。歌っている間、みんなに色々着せられて集中できなかったようです。デュエットでまた登場した鳥山さんが、これまた散々タイジられて、ようやく終了。

司会板井君の無茶振りに応じてくれた皆さん、ありがとうございました。

山内先生のジャグリングを経て、いよいよシメの恒例百円じゃんけんゲームです。これもあろうか、前回優勝の立花係長がまた勝つという最も面白い結果に。係長の賞金を掛け、もう1回戦！勝者、修行さん！大喜びの修行さん。2回戦分の賞金は2次会費として消えていきましたとき。めでたし！

厚生部会 江頭の嫁

咲保っちの

ふくよかな会話
キャンペーン

使える介助術!

1月15日（水）、事務職員を対象とした「車椅子と車椅子の移乗介助」の勉強会を行いました。
日頃より、来院された車からの乗降困難な患者様に対し車椅子をどのように使うのか、どのようにお手伝いすれば良いのか、もどかしく思うことが多々あり、リハビリの須川PTに講師を依頼したところ、快く引き受けて頂きました。須川さん、本当にありがとうございます（涙）。

●全ての介助に通じること

1. 何をして欲しいか、見て！ 聞いて！ 感じて！
2. どのように介助して欲しいか本人の意志を尊重し、息を合わせる
3. 分からないことはやらない & 無理をしない
4. 周囲の人に協力を求める
5. 介助される人との対話（会話）を大切に
6. 服装に注意して
7. 介助者の姿勢にも注意

また、人の動作の仕組み（重心の移動）や車椅子の構造についても学び、実際に玄関前に車を停め車椅子からの乗り降りを実演して頂きました。

実演中は、須川PTの堅実さと優しさが滲み出ており、私が患者で車椅子に乗せて貰ったら、好きになってしまいそうでした（笑）。

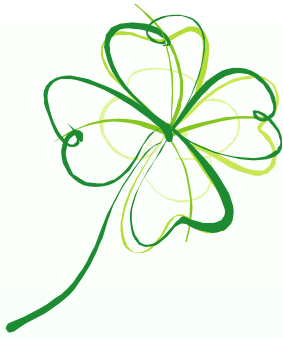
●介助の方法は十人十色 「正しい介助」より「行いやすい介助」を！



“患者様×介助者×アイデア×経験＝無限”、基礎を押さえた上で自分が使いやすいように自分の技に組み込んでいく。ただし、リスクはリスクとして捉える！ 等、約30分の内容でしたが、とても中身が濃く充実した勉強会でした。デイケアの皆さんにもご参加頂きましてありがとうございました。

勉強会で学んだことを踏まえ、ふくよかに積極的にアプローチしていきたいと思えます。

医事係 大浦 暢子



→ 真剣に聞き入る大勢の女性事務スタッフ



講師のPT 須川咲保氏 ↓



どんな時も
思いやりを絶やさずに

▼ 公用車を用いて実践



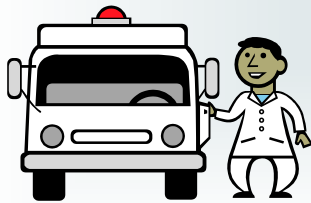
Information Information Information

接遇講習会



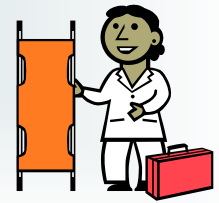
- 開催日時：1月20日（月） 17時半～
- 場所：別館会議室
- 講師：俵 純子先生

教育研修部会



救命士 再教育実習

1月20日（月）～2月14（金）の日程で、6名の救命士の方が当院で実習を行います。ご協力の程、よろしくお願い致します。



酒とすき

餅とすきなり

今朝の春

虚子

▲金色の初日の出（網代）

: f =60mm (35mm換算) プログラムオート F20 SS1/640 ISO200 -1.0EV 手持ち

編集後記

あけましておめでとございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、いよいよ運用開始目前に迫った電子カルテですが、各部署の皆様、準備の程はいかがでしょうか？

これまで、総務望月さんが主体となり、メーカーや電カル委員をはじめとするシステム構築に携わった全ての方々が、まさに身を粉にして取り組んで頂いたお陰で、どうにか一つの形にまとまりつつあります。

まだまだ後からも、システム面・運用面双方から、課題は出てくるかとは思いますが、取り敢えず一つの節目を迎えられるようになった事に対しまして、本当にお疲れ様でした。

2月1日、今までの努力が結実します。恐らく、初日から何かしらのトラブルが発生する事が予想されますが、スタッフの皆様、どうぞ冷静に対処して頂きますようお願い致します。

そして、美味しいお酒を飲みたいものですね！（笑）



あす太郎